

熊本子ども囲碁便り

No.15 2013.3.15

発行：熊本子ども囲碁普及会
託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



NPO 法人化に向けて！

普及・拡大に大きくジャンプ！

この度、熊本子ども囲碁普及会は NPO 法人化を目指すことになりました。1 年 3 ヶ月間普及活動をしてきましたが、会の社会的信用を得てもっと県内のたくさんの子どもたちに囲碁に親しんでもらいたいという願いから 7 月末の認可を目標に頑張っています。法人化することで幼稚園や小・中学校などへの出前教室、地域での入門教室の開催、囲碁大会開催など熊本市だけでなく郡部でも活動を広めることができます。

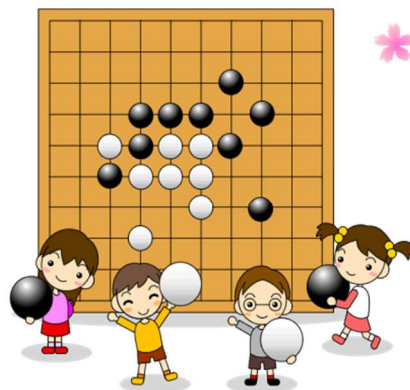
先例では、長崎県子ども囲碁普及会が NPO 法人になり 10 年になります。長崎では県内いたるところに子ども囲碁教室が開催され、囲碁が子どもたちにとって身近なものになっています。

熊本でも「囲碁は子どもたちにとって素晴らしい」と県内の子ども教室一同引き続き頑張りますので、関係者の皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

各教室から・・・

佐土原子ども囲碁教室

(熊本市東区佐土原 1 丁目 10-1 TEL・FAX 096-367-1707 渡辺利男)



< 子どもの感性、おとなの感性 >

教室に入門して半年足らずの 19 級と 20 級の生徒が 12 名います。

そのうちの 3 人は生徒のお母さんとおばあちゃんです。対局を中心に詰め碁や手筋のドリルなどの勉強を積み重ねていますが、子どもと大人の進歩の仕方は明らかに違うようです。

大人の 3 人はテキストなどの基礎知識はちゃんと身につけているのですが、いざ対局になると身につけているはずの実力が発揮できないようです。

それは、子どもは自分の考えで打ちたい所にポンポン打っていくのに対し、大人は間違えないように、失敗しないようにと慎重に慎重に色々と考え過ぎて石が変な所に行ってしまうようです。石橋のたたき過ぎのようです。3 才、4 才の子どもが母親のスマートフォンでゲームを楽しんでいます。でも子どもは取扱説明書を読んでからやっているわけではありません。色々と指で触ってみて、やりながらおぼえていっています。

お母さんたちの碁も失敗を恐れずに打ちたい所に打って欲しいと思います

《お地蔵さまが見守る☆蓮台寺囲碁教室オープン!》



きちんとすわって、真剣に先生のお話をきいている参加者

千体のお地蔵さまが見守る、熊本市の蓮台寺で、囲碁教室の第一回が開催されました。初回で15名参加していただいて、非常に楽しかった!というご感想を頂いて、うれしい限りです。

前半は講師の江藤先生の講義です。

子どもだけ、大人だけという講座は多いんですが、大人も子供も同じ席で勉強していくのはちょっと珍しい形かも知れませんね。

親子が多かったのですが、親も子供も同じ勉強を必死でやる、というのがどちらにとっても非常に効果があるのです。

それは和太鼓教室で実証済みです。

そして、感覚で打てる要素の強い囲碁は、むしろ子供の方が成長が速かったり、さらに極めることが出来ない!というほど奥深かったり。同じ課題に取り組んで行くのにぴったりの競技なんですね。同じことを頑張った記憶は絆としてしっかり残って行きます。

たとえば、部活の応援なんかで親が口出ししたりすると、『やったことないくせに!』という場面をよく見ます。ごもっとも・・・。

親子でしのぎを削れる種目とは意外に少ないものなんですね。

講義では楽しさや深さもちりばめながら、基本的なルールを身に付けていきます。一番基本の『囲めば取れる』を覚えるために、会場を白チームと黒チームに分けて、一人ずつ交代で5子を先にとったチームの勝ち!ゲームをしていきます。おやつタイムもはさみながら、後半は対局中心になります。

やった事ある子は、最後まで打ちます。

初めての子は、5子取りゲームをやって行きます。

近くに囲碁を授業に取り入れている幼稚園があるのですが、子供がやろう！と言っても親が分からないんですー。
という方が多かったですね。

こういった脳にいいことを日常生活に取り入れて行くのがとても大切なんです。

それが親子一緒に出来れば、これほどいいことはないですね。

今回は、3月24日、日曜日 午後一時半からの開催です！

記 和太鼓教室おんがくの森代表・坂本新吾

メール wadaiko@ongakunomori.net

電話 08033760407

熊本チビッコ碁友会（託麻囲碁クラブ）

（熊本市東区保田窪5丁目9-23 Tel096-382-0174 西山育子・田中信夫）

「鶴山淳志七段の指導を受けて」



2月24日（日）熊本出身プロ棋士 鶴山淳志七段が帰省された折に子どもたちに指導碁をお願いしました。
鶴山先生は、託麻囲碁クラブ出身で、子どもたちの指導に熱心な方です。

佐土原教室、熊本母と子の囲碁教室の子どもも参加して、皆真剣に挑戦しました。結果は「プロの先生はやっぱりすごいなあ」という感想でした。終局後は先生からアドバイスいただき、貴重ないい勉強になったようです。

私は、今回指導碁を見ていて感じたことがあります。それは指導を受ける態度、マナーについてです。
きちんと座れない子、大きな口をあけてあくびをする子、ゴケに手を入れて考える子、乱暴にたたきつけるように石を置く子……。今までもマナーについては気がついたときに注意するようにしていましたが、きちんとできていなかったということに指導者としても大きな反省点を感じました。

囲碁には負けてもマナーについては誰にも負けない立派な対局を心掛けたいものです。（記 西山）

一新こども囲碁教室

(熊本市中央区新町 3-4-22 Tel・Fax 096-352-7639 代表 毛利秀士)

子ども文化会館にて初心者こども囲碁教室が始まります！！

4 月からは子ども文化会館で、4 月～6 月まで、第 2、第 4 日曜日の午後初心者こども囲碁教室を始めます。毎週土曜日の子ども教室は今のまま続ける予定です。

熊本市内の子ども教室は東区方面に集中しているなかで、当教室は西部方面に位置する貴重な教室のひとつです。上熊本、島崎、春日方面の子ども達のたくさんの参加をお待ちします。

囲碁教室『阿蘇一碁一会』・ヒカルの碁スクール『阿蘇』

(阿蘇市一の宮町宮地 6273 番地 6 050-3481-7045 代表 藤崎幸次郎)

こんにちは！ヒカルの碁スクール『阿蘇』の藤崎です。阿蘇はようやく春を迎えようとしています。

皆さん、お元気ですか？

3月10日は、九州ジュニアの熱い一日でした。今年から1地区増えて、福岡、大分、都城とうちよ杯ジュニア本因坊戦が一斉に開催されたのです。

私は古巣の大分大会に、通信教室生の応援に行ってきました。本因坊戦に二人、有段戦に一人、初級戦に一人の4名が参加しました。本因坊戦は、熊本1、福岡2、大分2と、少し寂しい人数でした。

本命は、昨年覇者の熊本橋本君(中3)、対抗は大分の宮脇君(中2)。

全勝で二人がぶつかりましたが、橋本君が優勢の碁を時間切れで落とし、宮脇君の全勝優勝でした。

しかし、橋本君も実力が認められ全国大会に推薦されていました。全国で6名の枠ですので確定ではありませんが。

もう一人の、日高君(小4)は強豪相手にいい碁を打ちましたが、1-3 で4位入賞でした。

有段戦は、久保田君(小4)が3段で出場し、緒戦を落としたものの、後全勝し2位に入賞しました。

初級の部は、昨年入会した朝来野君(年長)が24級で参加しましたが、三連勝の後二連敗してしまい、残念ながら入賞は出来ませんでしたが、覚えて間もないのに三連勝出来たのは、すごいと思います(^^)v

今年は、3地区に分かれたので、参加者は少なかったですが、皆の対局中の真剣な顔と勝った時の笑顔は、本当に良いものですね(*^_^*)

来年は、熊本でもうちよ杯が出来たらいいのですが(^^)♪

今年は夏に、テレビ局主催の大きな大会がありますので、皆さんも交流大会に出たり教室で勉強したりして優勝目指しましょう！(^^)v

その他のうちよ杯参加者

福岡会場・・・高橋慶多(二段)	全勝
宮川天地(1級)	3勝1敗
都城会場・・・水谷勇斗(5級)	3勝1敗
水谷凌也(15級)	3勝1敗

全国大会もあるよ。
来年はたくさんのお友だち
の参加をお待ちします！！



井山裕太さん、23歳で初の6冠

「囲碁の良さ、多くの人に知ってほしい！」

第37期棋聖戦七番勝負 張栩棋聖対井山裕太本因坊は、井山裕太本因坊が張栩棋聖に勝利して史上初の6冠を獲得しました。(本因坊・天元・碁聖・王座・十段)

5歳の頃、祖父に囲碁を教わり、小学校では野球やサッカーでも遊んだが最も楽しかったのは囲碁。しかし、仲間で碁を打つ人はなく、12歳でプロ入り後、中国や韓国での対局も多く経験。結果が大きく報道され、棋士の認知度が高いことを肌で感じたそうです。

「19路×19路が交わる」361カ所のどこに打ってもいい。これほど自分自身を表現できるものはない。そんな囲碁の良さを多くの人に知ってほしい」

プロスポーツの世界同様、囲碁に興味を持ってもらうには、注目される強い棋士が不可欠。囲碁の素晴らしさを広めたい、という秘めた思いが強さの原動力です。

昨年5月、同じ誕生日の将棋棋士、室田伊緒さんと結婚。型破りだった昭和の棋士とは違い、ふだんの姿は普通の若者と何ら変わらない。秋には、唯一保持していない名人での全7冠達成も視野に入っています。

(一部産経新聞より)

時の人 棋士井山裕太が 玉名にやってくる！！

3月28日(木) 10段戦第二局が玉名司ロイヤルホテルにて開催されます。大盤解説や指導碁もあります。囲碁愛好者の参加をお待ちします！！

問い合わせ 日本棋院玉名支部 0968-74-4967



「日韓親善協会設立50年囲碁大会に思い巡らしたこと」・・・

日本棋院熊本県本部 専務理事 園田洋一郎

去る3月2日、突然日韓親善協会から電話があり、「日韓親善の囲碁交流会をやりたい」との申し入れがあった。の対局となった。

お相手は、金康造(キムカンジョウ)さんほか有段者三名。お仕事は、薬剤師とか象牙塔学院長とか多士済々である。迎え討つのは、俄か揃えの渡久山、田中一成、田中一光と小生である。対局は和気藹々で打ち興じ、田中兄弟の白星で仲良く引き分けた。金さんから「次回は韓国で相見たい」などの言葉で幕を閉じた。

政治の世界では、竹島(独島)問題や従軍慰安婦問題という日韓の領土、歴史を巡っての応酬が国連を舞台に再燃している。「慰安婦」問題は、日本の外相は「国交正常化の際に解決済み」だとする従来の立場を繰り返し、終わりは見えない。領土問題では、中国も然り。一触即発の気運さえ見られる。

中、韓共に太古より学問や芸術など交流のあった国。これからも政治や外交に囚われることなく、民間では文化の交流を続けていきたいものだ。

学校囲碁指導者養成講習会開催のご案内

主 催： 公益財団法人 日本棋院
日 時： 平成25年3月23日（土）午後1時～約3時間
場 所： 肥後銀行徒然会館
（熊本市中央区水前寺1丁目15-7 TEL096-382-6595）
会 費： 無料
講 師： 日本棋院プロ棋士（2名） 武宮陽光五段・種村小百合二段（関西総本部）
目 的： 伝統文化である囲碁を多くの子どもに知ってもらい
学ぶことにより情操豊かで相手を思いやることが出来る思慮深い子どもを
育成することに資するもの。
講義内容： 囲碁歴史・ルールとマナー 実践対局（9路盤）

※囲碁のルールは3つくらいで、誰でもすぐ理解できます。

教職の方であれば、囲碁を全く知らなくてもすぐに指導者になれます。

申込先 電話・FAX 096-370-2263

代表世話人 江藤茂

「第六回 子ども囲碁交流大会」（主催・熊本子ども囲碁普及会）

1. 日 時 平成25年4月21日（日） 9：30受付 10：00開会
2. 場 所 熊本市東部交流センター 熊本市戸島町2588番地の1（096-349-0888）
3. 対 象 小学生（含未就学児）・中学生
4. 参 加 費 500円（弁当含む） ※飲み物はご持参下さい。
5. 試合形式 なるべく他の教室との対局を目的に組み合わせをします。（9・13路盤有り）
6. 申 込 先 各教室の先生まで（4月15日締め切り）

お知らせ

4月の「熊本囲碁研鑽会」は 4月29日（祝） 託麻囲碁クラブにて開催します。場所が変更になりますのでよろしくお願いします。

幹事 田中一成（096-370-1525）

○ 尾ノ上コミュニティセンターこども教室

（熊本市東区錦ヶ丘 8-20 TEL096-340-8731 指導者 田中信夫）

○ 日本棋院玉名支部初心者教室 （玉名市岩崎 154-1 TEL0968-74-4968 担当 隈部敏）

○ 人吉球磨支部子ども囲碁教室

（人吉市西間上町 2569-2 みのだ内科循環器科内 0966-28-3111 支部長 蓑田耕太郎）

○ 玉名立願寺楽碁長屋子子ども教室 （玉名市立願寺 1362-2 0968-73-9008 松本博 ）

編集後記

今月に入り、井山裕太棋聖誕生が大きく報道されました。また、私たちの活動が熊日新聞に大きく取り上げられました。新学期から囲碁を取り上げる中学校も誕生します。囲碁が広がる予感です！皆さんの投稿おまちします。